



- ・保育者やお友達と水遊びに慣れ、楽しむ。
- ・水分と食事をよく摂り、暑さに負けず元気に過ごす。



手遊び、絵本楽しいな♪

毎日おやつ後に子どもたちは手遊び、絵本の読み聞かせを楽しんでいます!!!

手遊びでは「ひげじいさん」のアンパンマンバージョンをやったり、「はじまるよ」という手遊びをしています。

初めはじーっと保育者がやるのを見ていた子どもたちが、今では一緒に手を叩いたり、

合いの手を入れ楽しんでやってくれます♪今子どもたちに人気の絵本は、

絵本に出てくる動物たちがページの中の仕掛けをめくると、顔が変わったりする

「ばいばいできるかな」「いただきますあそび」など、子どもたちが日常で

使っている言葉が出てくる絵本です！保育者が読む声につづいて

声をあげ反応したり、読み終わると拍手をしてくれます(^^)



6月は7月のイベントに向け、製作をしました！皆様には短冊に

願い事を書いていただいたのでお分かりだとは思いますが・・・そう！七夕です！

クレヨンでお絵かきをしようとする、片手にひたすらクレヨンを持ちぎゅーっと

握りしめ、クレヨンの少し柔らかい何とも言えない感触を楽しむ子や、紙にトントンとひたすら点を描き、時々保育者の顔を見て

ニコっと笑い楽しむ子。一人ひとり反応も作品も違いがあり見ているこちらがとても楽しく、可愛らしかったです(^^)

そんな子どもたちの作品を是非楽しみにしててください！そして、どうかみんなの願い事が叶いますように・・・。



噛みつきやひっかきについて

子どもに自我(わたし)(ぼく)が生まれてくると、噛みつきやひっかきが始まります。「それ僕の」「欲しいなそれ」「私やだ」こういった気持ちがあっても、まだ言葉にはなりません。だから、噛みついたり引っかいたりします。または、目の前に出てきた誰かの指や顔に、手や口が出ることもあります。そのような時、子ども達が幼いながらも言葉で気持ちを表現できるよう働きかけをしています。お友達のおもちゃを取ろうとし始めたら「使いたいのかな?」「貸して」って言ってごらん」と伝えますし、お友達の顔の前に手を出したら「どうしたの」と声を掛けて、そのお子さんの気持ちをくみとる努力をします。私たちはお子さんの気持ちを受け止め、言葉にするよう伝えます。噛みつきやひっかきが起きた際には適切に処置して、保護者の方にもお伝えします。また、噛みつきの原因として生え始めた歯がかゆくて噛む、ということもあります。ご家庭でそういった様子が見られ始めたら、園にもお伝えください。私たちも、同様のことが見られましたらお伝えしていきます。